

友達のお姉ちゃんと二人きりで

ク
ア
ト
□

■作品概要

△サークル▽

癒し庵もち猫（シナリオ／効果音／音声編集…クアトロ）

△ジャンル／年齢指定▽

バイノーラル音声作品／全年齢

△作品ポリューム▽

60m **400文字数5,440文字**

△舞台▽

現代／親友の姉、めぐるの部屋

■登場人物

△ヒロイン▽

名前 …めぐる／22歳

人物 …親友の実姉／誰に対しても丁寧な言葉で話す

やや天然でふわふわした印象

ケーキ屋でバイトをしている

趣味など …ケーキ作り／世話焼き／シヨタ好きという訳ではない

△聴き手▽

男の子 …小学生中学年くらいを想定

1…寒かった？お耳真つ赤ですよ？【午後…友人宅／めぐるの部屋】
1971文字

（インターホンの音）

（位置正面・距離普通／有声音）

はい、どなたでしょう？

ああ、君は…弟のお友達の。

私（わたし）は、姉のめぐるです♪

前に少しお話したの、覚えてませんか？

あら、そう…それは残念…。

あ、いけない。

弟に用事、ですよ？

『遊ぶ約束をしている』？

あれ…おかしいですね…。

弟は先程、出かけてしまいましたが…。

（**呟く様な小声で**）さてはあの子…また約束を忘れて…。

ああ、ごめんなさい。

今開けますので、少し待ってもらえますか？

（ドアの鍵が開き、ドアが開く音）

（位置正面・距離近く／有声音）

はあい、お待たせしました♪

早速ですが、中へどうぞ♪

遠慮は要りませんよ？

弟が帰ってくるまで、中で待っていて下さい♪

だって、外は寒いでしょう？

弟の大事なお友達が、風邪を引いてしまったら大変です。

ですから、ほおら♪

（聴き手の足音／スリッパ）

（聴き手…お邪魔します）

（位置右・距離普通／有声音）

はあい、ようこそ♪

礼儀正しい、いい子ですね♪

あ、そうだ。

一人で待っていても、暇じゃありません？

でしょう？

だったら、私とお話ませんか？

ええ、構いませんよ。

君はお客さんですから、それくらいさせて下さい♪

うんっ、決まりですね♪

では、こちらへどうぞ。

（二人の足音／ドアの開閉音）

（位置正面・距離普通／有声音）

ここが私のお部屋です♪

はい、そうなんです。

ピンクが好きで…。

それで、ついついピンクの小物ばかり買ってしまったて…。

（ハッとした様に）あ、立ったままでごめんなさいね。

そのクッション、使って下さい♪

（聴き手がその場に座る衣擦れ音）

それにしてもあの子ったら、どこへ遊びに行ってしまったんでしょう…。

こんな寒い中、お友達が遊びに来てくれたというのに…。

あら？

あらあら…君のお耳、冷えてしまったせいか、真っ赤…。

うん…どうしましょう…。

あつ、そうだ、いい事を思い付きました♪
私の袖で、温めましょう♪

(めぐるが近付いて来る足音)

(位置正面・距離普通から距離近くへ／有声音／小声)

いきますよお♪

えいつ、萌え袖ビーム♪

(耳にニットが擦れる音)

ふふつ、ふわふわのニット、温かくないですか？

ふわふわもこもこゝふわふわもこもこゝ♪

あら、そんなに温かい？

だって、さつきよりもお顔、赤いんですもん。

『恥ずかしい』？

えゝ、なんでですかゝ？

いいじゃないですかゝ。

(素手で耳を塞がれる音)

ほおら、君のお耳、こんなに冷たい。

もつともゝつと、温かくしないと♪

うゝんでも…この姿勢だと、少しやりづらいですね…。

あ、そうだ。

ねえ君、私の膝の上へ来ませんか？

『えゝ』って、嫌なんですか？

だったらいいじゃないですか♪

ほゝら、こゝに♪

(めぐるが膝をポンポンと叩く音)

(聴き手がめぐるの膝へ移動する音)

はあゝい、よくできましたゝ♪

これでやりやすくなりましたね〜♪
じゃあ早速…。

ふわふわ〜♪

（耳に二ツトが擦れる音）

（位置左・距離近く／有声音／小声）

どうです？

温かくなってきましたか？

そう、よかったあ…。

ふふっ、安心しきったお顔♪

かわいいですね〜♪

ふわふわ〜もこもこ〜ふわふわ〜もこもこ〜♪

ふわふわ〜もこもこ〜ふわふわ〜もこもこ〜♪

（位置右・距離近く／有声音／小声）

ふわふわ〜もこもこ〜ふわふわ〜もこもこ〜♪

ふわふわ〜もこもこ〜ふわふわ〜もこもこ〜♪

たいぐ温かくなってきましたね〜。

ほら♪

（素手で耳を塞がれる音）

（位置右・距離近く／有声音／かなり小声）

うん、これくらい温かかったら、大丈夫でしょう♪

あとは〜そうですね…。

手はどうです？

冷えてませんか？

手、出してみてください。

ギユ〜♪

あ〜やっぱり冷えてるじゃないですか〜。

じゃあ今度は、こつちを温かくしましょうね♪

はあい、そうしたら〜私の両手で〜君の手を挟む様にして〜♪

先ずはこつちの手から♪

ギュッ〜♪

（時折手を擦る音）

温かいですか？

ふふっ、よかった♪

こんなに寒い中、遊びに来てくれて、ありがとうございます♪

ホントあの子ったら…忘れっぽいんですから…。

あ、でも、こうして君とお話できて、私は嬉しいです♪

はい。

いつも弟と仲良くしてくれて、いつかお礼したいと思っていましたから。

私と弟って、年が離れているでしょう？

それで声をかけていいものかどうか、中々踏み切れなくて…。

でも、ようやく君とお話できました♪

（位置右から左へ移動しながら・距離近く／有声音／かなり小声）

さて次は、反対の手も、温めましょうね〜♪

（位置左・距離近く／有声音／かなり小声）

ギュッ♪

わあ、こちらも冷えちゃってますね〜。

ギュッギュッ、時々さすって…またギュッギュッ。

（時折手を擦る音）

あ、そうそう。

前から聞きたい事があったんですが。

君はあの子と、いつから仲良しなんですか？

ええ…ええ…。

（感心した様に）へえ、そんなに前から…。

あの子ったらね、いつも君の話ばかりするんですよ♪

今日はテストで負けたとか、かけっこで勝ったとか♪

ホントに仲がいいんですね♪

姉としては、あの子に君みたいなお友達がいてくれて、嬉しいですよ♪

はい、いつも弟がお世話になってます♪

あ、こちらの手も温まりましたね。

じゃあ、これでおしまい…と言いたい所ですが…はあ…。

あの子…まだ帰ってきませんね…。

うーん、どうしましょう？

（閃いたという感じ）あっ！

（やはり思い留まるという感じで）ああ…やめておきましょう…。

えーっと、ゲームっ…と思ったんですが、私、苦手なんです…。

ええ、君にはとても敵わなさそうです…。

（位置左から右へ移動しながら・距離近く／有声音／かなり小声）

うーん…困りましたね…。

（位置右・距離近く／有声音／かなり小声）

あ、耳かきッ！

耳かきなんてどうです？

いつも弟にしてあげているので、得意なんです♪

それに、私の耳かき、気持ちいいって評判いいんですよ♪

どうです？

試してみませんか？

大丈夫ですッ。

絶対に痛くしませんから。

ええ、それだけは自信があります。

ですから、ね？

耳かきでおもてなし、させてくれませんか？

うん、決まりですね♪

じゃあ直ぐに準備しちやいますので、待っていて下さい♪

2…おもてなしの耳かき【同日午後…めぐるの部屋】 2634文字

(位置正面・距離普通／有声音／小声)

はあい、お待たせしました。

それじゃあ耳かき、していきましようね♪

君、私の膝へ、寝転がってもらえますか？

はい、ひゞぎ、です♪

うん？

どうかしましたか？

座ったままだと危ないですよ？

ですから、こゝこ♪

(めぐるが膝をポンポンと叩く音)

(聴き手がめぐるの膝に寝転がる衣擦れ音)

(位置左・距離近く／有声音／かなり小声)

はあい、よくできました♪

じゃあ耳かき、始めますね♪

(耳かき音)

(少し無言)

(耳ふー) ふゝゝ。

(呼吸音) すう…。

さつきも思ったんですが…君のお耳、可愛いですね♪
ええ。

小さくて、プリっとしてて、もちもちしてます♪
あら、照れちゃいました？

だってお耳、真っ赤なんですよん。

ふふっ、可愛い♪

ああ、弟もね、こうして耳かきされるの、好きなんですよ。
あゝうゝん…どちらかと言うと、私がするのが好き…なのかも。

はい、大きな汚れが取れた時とか、すっごくスッキリするんです♪
じっくり時間をかけて、カリカリ…こしょこしょって…。

汚れが取れた時は、まるで自分の気分まで晴れ渡る様で♪

あ、勿論痛くない様に、十分気を付けますから、安心して下さい♪

(少し無言)

(耳ふー) ふゝ。

(眩く様な小声) ふふっ、なんだか弟が一人増えたみたい♪

あっ…。

勝手に弟だなんて言っって…。

こうしてじっくりお話するの、初めてなのに、ごめんなさいね…。
え、いいんですか？

じゃ、じゃあ、あの…「お姉ちゃん」って呼んでもらえませんか？

(聴き手…「お姉ちゃん」)

わあ、嬉しいっ♪

ああいえ、その…。

弟は私の事、「めぐねえ」って呼ぶんです。

もうずっと「お姉ちゃん」って呼ばれてなかったものですから…。

ふふっ、ありがとうございます♪

久しぶりに呼んでもらえて、温かい気持ちになりました♪

(少し無言)

(呼吸音) すう…。

ホントに私の弟になっちゃいます？

あはっ、変な声出しちゃって。

冗談ですよぉ♪

あら、真に受けちゃいましたか？

ふふっ、驚かせてしまつて、ごめんなさい♪

でも弟とは、これから仲良くしてあげて下さいね。

あの子、そっかしい所がありますから。

今日だってそう。

君と遊ぶ約束を忘れてしまっているみたいで…。

そんな弟ですから、君みたいなしっかりした子が居ないと。

ええ。

君はしっかりしています♪

約束も守れましたし、挨拶も出来る子…。

とっつても、しっかり者です♪

将来モテそう♪

あはっ、お耳赤い♪

でも、モテそうっていうのは、ホントです♪

あ、そうだ♪

大きくなったら、私の彼氏になってくれませんか？

あはっ、冗談です♪

あらら、怒っちゃいました？

それとも照れてます？

ふふっ、どちらにしても、可愛い♪

さてさて、こちらのお耳、目立った汚れはなくなりました。
次はこのふわふわで、こしよこしよしましうね♪

(めぐるが耳かき棒を持ち帰る音)

(梵天の音)

(耳ふー) ふ〜。

(梵天の音)

(耳ふー) ふっふ〜。

くすぐったくはないです？

そう、じゃあもう少しやりましうね♪

(梵天の音)

こしよこしよ…こしよこしよ…ふわふわ…ふわふわ…。

こしよこしよ…こしよこしよ…ふわふわ…ふわふわ…。

(耳ふー) ふ〜ふ〜。

(梵天の音)

こしよこしよ…こしよこしよ…ふわふわ…ふわふわ…。

こしよこしよ…こしよこしよ…ふわふわ…ふわふわ…。

(耳ふー) ふっふ〜、ふっふ〜。

(呼吸音) すう…。

はあい、綺麗になりました♪

反対のお耳も、お掃除しましうね♪

じゃあ、ごろ〜んってしてくれませんか？

(聴き手の寝返りの衣擦れ音)

(位置右・距離近く／有声音／かなり小声)

はあい、こちらも耳かき、始めますね♪

(耳かき音)

あら〜、こちらは手前に大きな汚れが…ありますね…。

大丈夫です。

痛くない様にしますから、安心してください♪

なんてったって、「お姉ちゃん」ですからね♪

君が痛がる顔は見たくありません。

ですから、慎重に…少しずつ…。

カリカリ…カリカリ…ゴソゴソ…ゴソゴソ…。

カリカリ…カリカリ…ゴソゴソ…ゴソゴソ…。

わあっ、取れましたよっ。

やはりこの瞬間が爽快です♪

どうです？

流石は「お姉ちゃん」でしょう？

(自慢気に鼻で笑う) ふふんっ♪

あ、そうだ♪

君、もう一回、「お姉ちゃん」って呼んでくれませんか？

深い意味はないですけど、もう一回だけ、ね？

(聴き手…「お姉ちゃん」)

(悶える様に) うゝん♪

はあい、お姉ちゃんですよ♪

にえへへゝ改めて呼ばれると、少し照れますねゝ。

でも不思議です。

君とは、軽く挨拶した事があるくらいだったのに、今はこんな近くに…。

私たち、仲良くなれそうっ。

ね、君もそう思いませんか？

えゝ思わないんですかゝ？

私はぜゝったい仲良くなれると思います♪

ね、仲良くしてくれませんか？

じゃあー私たちはもうお友達…ですね♪
わあー嬉しいなー♪

まさか弟のお友達が、私とも仲良くしてくれるだなんて…。
ああ、えっと…。

私ね、同年代のお友達が少ないんです…。

年が近いと、話題や空気を合わせるのに疲れてしまって…。
それで、ついつい年の離れた人と仲良く…。

君も、私の数少ないお友達の一人…です♪

はい、よろしく願いますね♪

私、君となら上手く行く…そう直感したんです。

ええ、君にはなにかトクベツなものを感しました。

それがなんなのかは、まだ分かりません。

ですから、これからたくさんお話して、トクベツを探りましょう♪
ふふっ♪

なんだかゲームや探検みたいでワクワクしますね♪

じゃあ先ずは、君のこのお耳。

謎が隠されていないか、しっかり探ってみましょう♪

どれどれ…うーん…んっ…。

カリカリ…カリカリ…ゴソゴソ…ゴソゴソ…。

カリカリ…カリカリ…ゴソゴソ…ゴソゴソ…。

(耳ふー) ふー。

カリカリ…カリカリ…ゴソゴソ…ゴソゴソ…。

カリカリ…カリカリ…ゴソゴソ…ゴソゴソ…。

(耳ふー) ふーふー。

(呼吸音) すう…。

(探検家に成り切った風に)

むむむ。

どうやらお耳に謎は隠されていないみたいです、隊長。

(ここまで)

え？

そうです、君が探検隊の隊長です♪

(探検家に成り切った風に)

次はどうすればいいですか、隊長。

ふわふわですね。

任せて下さいっ。

(めぐるが耳かき棒を持ち帰る音)

では行きますよ、隊長。

(ここまで)

(ここは普段通りに)

(梵天の音)

こしよこしよ……こしよこしよ……ふわふわ……ふわふわ……
こしよこしよ……こしよこしよ……ふわふわ……ふわふわ……

(耳かき棒) ふわ。

(梵天の音)

こしよこしよ……こしよこしよ……ふわふわ……ふわふわ……
こしよこしよ……こしよこしよ……ふわふわ……ふわふわ……

(耳かき棒) ふっふわ。

(梵天の音)

こしよこしよ……こしよこしよ……ふわふわ……ふわふわ……
こしよこしよ……こしよこしよ……ふわふわ……ふわふわ……

(耳かき棒) ふっふわ。

(梵天の音)

こしよこしよ…こしよこしよ…ふわふわ…ふわふわ…
こしよこしよ…こしよこしよ…ふわふわ…ふわふわ…

(耳ふー) ふっふっ、ふっふっ。

(ここまで)

(呼吸音) すう…。

(再び探検家に成り切った風に)

お掃除完了です、隊長っ。

しかし謎は明かされぬまま…でしたね…。

ふうむ…これは他にも探る必要があるか…。

隊長、今日の探検はこれくらいにして、切り上げましょう。

そして、隊長とのトクベツを探る調査、またやりましょうっ。

(ここまで)

(笑いを堪え切れない感じで) ぷふっ…あはは♪

君、ノリがいいですね♪

こんな私のネタに付き合ってくれるんですもん。

やはり君は私にとって、トクベツ…なんだと思います。

それがなんなのかは、まだ分かりませんが…。

さあ、耳かきは終わりましたので、起き上がってくださいか？

(聴き手が膝から起き上がる衣擦れ音)

(位置正面・距離普通／有声音／小声)

というかあの子ったら、まだ帰ってきませんね…。

まったく…困ったものです…。

3…照れたら負けゲーム【同日午後…めぐるの部屋】 835文字

(位置正面・距離普通／有声音／小声)

うーん…これ以上君を待たせる訳には行きません…。

どうします？

また別の日にします？

もう直ぐ夕方ですし、そろそろ帰ってくるとは思うんですが…。

はあ…「待つ」ですか…。

うーん…流石に退屈じゃありません？

そう？

でしたらいいんですけど…。

あつ、私、「いい事」を思い付きました♪

ゲームをしましょう♪

ああ、そっちのゲームは苦手なんですけど、これなら…。

その名も、「照れたら負けゲーム」ですっ♪

ルールは簡単♪

君にとある言葉を囁くので、最後まで照れなかったら君の勝ち。

どうです、やってみませんか？

はあい、決まりですね♪

ではこちらへ。

ええ、私の膝に♪

(聴き手がめぐるの膝へ移動する衣擦れ音)

(めぐるが聴き手を抱きしめる衣擦れ音)

(位置左・距離近く／有声音まじりの無声音／かなり小声)

はあい、よくできましたっ♪

では早速、始めましょう♪

「照れたら負けゲーム」、スタート♪

(※マイクの片側一方で囁いてください。
編集で左右に振ります。)

(位置左・距離近く／有声音まじりの無声音／吐息多めのかなり小声)

(ゆっくり)

(呼吸音) すう…。

好き、好き、好き、好き。

(呼吸音) すう…。

好き、好き、好き、好き。

(呼吸音) すう…。

好き。好き。好きです。大好き。

(呼吸音) すう…。

好ゝき。好き。好き。だゝい好き。

(呼吸音) すう…。

好ゝき。好き。しゅき。しゅゝき。

(呼吸音) すう…。

好きだよ。大好き。すつごく好き。好ゝき。

(呼吸音) すう…。

好ゝき。好き。好きだよ。好ゝき。

(呼吸音) すう…。

君が好き。好き。大好き。しゅゝき。

(呼吸音) すう…。

好き？ 私は好きだよ。

(呼吸音) すう…。

好きって言って？

(呼吸音) すう…。

君が好き。大好き。

(呼吸音) すう…。

君が大好き。好きなの。

(呼吸音) すう…。

どうしよう、大好き。

(呼吸音) すう…。

とってもとっても好きだよ。

(二二二まで)

ねえ君、お耳真っ赤ですよ。

照れちゃいました？

ふふっ、正直でよろしい♪

じゃあこのゲームは、私の勝ちって事で♪

(遠くで玄関のドアが開く音)

あ、あの子、やうっと帰ってきたみたい。

もうこんな時間ですけど、まだ遊んでいきます？

そう、でしたら、帰りは私が送ってあげますね♪

遠慮しないで下さい。

だって私は君が…好き…なんですから…。

ふふっ、また照れちゃいましたね♪

ああ、からかってごめんなさい。

君の反応が可愛くて、つい。

そうそう。

これからも弟とは、仲良くして下さいね♪

君みたいなお友達、あの子には必要ですから。

あ、それと、私とも仲良くしてくれると、嬉しいです♪

うん、よろしくお願いします♪

はあい、行ってらっしゃい♪